

1 活動報告 2018年12月～2019年11月

2018年 12月	<b>【役員・理事会】</b> 2018年度OB・OG会会議報告資料作成、印刷・送付、ホームページアップなど 情報整理（名簿整理/メーリングリスト整理など）、会費整理、現役生の支援金整理
2019年 3月	<b>【祝賀会（現役生行事）】</b> 現役生からの案内をMLで流し、OB・OGから17名が参加 卒業生（新OB・OG会会員）から加入書・会費を徴収、内容の説明 第8回現役生への支援金（39,000円）贈呈
5月	<b>【新入生歓迎会（現役生行事）】</b> 現役生からの案内をMLで流し、OB・OGから3名が参加 <b>【トラト購入（現役生行事）】</b> 現役生からの案内をMLで流し、OB・OGから5名が購入
8月	<b>【役員・理事会】</b> 25周年記念パーティーキックオフ会議
9月	<b>【役員・理事会】</b> 2019年度OB・OG会総会のウェブページ・フォーム作成、案内ハガキ作成・印刷・郵送
10月	<b>【役員・理事会】</b> 2019年度OB・OG会総会出欠連絡返信集計、当日の打ち合わせなど
11月	<b>2019年度OB・OG会総会</b> 総会・25周年記念パーティー
年間を通じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員名簿修正作業 / ML登録修正作業</li> <li>・各種案内ML配信</li> <li>・公式サイト/Facebook/Twitter更新</li> <li>・2019年度OB・OG会総会の準備諸作業</li> </ul>

2 会員の状況

2-1 会員内訳

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年 20周年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 25周年
名簿登録総数	114	122	122	128	133	137	141	146	150	152
会費支払い会員数	103	107	66	67	73	77	78	83	67	61
会費未払い会員数			41	46	40	38	41	41	60	67
住所不明会員数	10	12	12	12	17	18	18	18	18	17
退会者数	1	3	3	3	3	4	4	4	5	7

2019年度は、新入会の会員は2名でした。

会費更新の会員は13名で、会費をお支払いいただいたのは3名でした。

2-2 総会実施状況

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年 20周年	2015	2016	2017	2018	2019年 25周年
返答数	55	59	47	53	75	53	54	65	66	-
実質参加人数	33	28	23	25	76	21	17	24	21	-
故荒井先生のお墓参り	21	16	13	任意	20	4	8	6	9	-
会議（2017年以降はSkype含む）	22	22	15	17	26	11	11	15 (3)	14 (2)	- (-)
一次会	31	25	20	24	74	20	15	20	17	-
二次会	23	20	15	20	58	13	9	16	11	-

※20周年の参加者には当時の現役生ほぼ全員が含まれています。また、20周年の参加者には、来賓の方5名が含まれています。

※2012年度より会費制度をスタートし、会費支払い会員のみ案内ハガキを郵送しています（20周年は除く）。

※2016年度より案内ハガキのみではなく、MLやホームページでも案内を送っています（出欠連絡フォームの告知含む）

※2017年度よりSkype会議が実施されました。関東・関西の会員も参加することができ新たな形の会議を行うことができました。

### 3 広報・情報共有について

#### 3-1 規約

2011年2月に規約を制定、その後、一部内容を修正し、2012年の口座開設に役立てました。  
規約は、公式サイト (<http://www.hcutc-obog.com>) にて公開していますので必要に応じてご確認ください。  
昨年度においては、第三章第九条 副会長についての記載を「2名」体制から「最低1名」という変更を行っています。

#### 3-2 メール・メーリングリスト

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
届いている	41	51	-	46	66	50	50	61	62	-
届いていない	14	10	-	4	6	3	3	4	4	-
到着率	74.54%	83.60%	-	92.00%	91.67%	94.34%	94.34%	93.84%	93.94%	-

※2013年度は記録を残していなかったため不明です。2018年度は「届かない」には「届かないときもある」が3件含まれています。

#### 3-3 ウェブ関連コンテンツ

##### 公式ホームページ <http://www.hcutc-obog.com>

主に「お知らせ」と「ML情報館」を更新しています。  
2016年の11月にはスマートフォンへの対応を行いました。フォトギャラリー等の更新は少し止まってしまっています。  
また、「出欠連絡で集めた近況メッセージのアップ」については、総会当日を目途にアップして好評を得ています。

##### Facebookグループ

メンバー58人、公式なお知らせだけでなく、トライアスロン部に関わる人とたちが集まっている近況を報告できるツールです。  
2017年度から、新会員の方には、Facebookグループへの参加の許可をとるようにしています。

##### Twitter

基本的にはホームページの更新情報やMLに流した情報の発信にのみ利用しています。  
フォロワーの数としてはさほど多くありませんが、今後も主にホームページ更新情報発信のツールとして活用していきます。

### 4 会計報告・会費・予算案について

#### 4-1 2018年度会計報告

別紙「広島市立大学トライアスロン部OB・OG会 2018年度会計報告書」参照。  
別紙「広島市立大学トライアスロン部OB・OG会 2019年度会計報告書(20190831締め)」参照。

#### 4-2 会費について

2012年度より会費制度を整備し、正式にスタートさせました。  
2016年度までは、3,000円の会費を6年ごとに徴収（1年間500円計算）していましたが、案内ハガキや資料等郵送の軽量化、ホームページなどを活用したデジタル化を経て、2017年度より3,000円の会費を10年ごとに徴収（1年間300円計算）に変更しました。  
これまでは更新タイミングがきた方のみに対して徴収を行っていましたが、総会に参加された方には会費支払い状況を伝えて希望者には先払いも可能な徴収方法に変更しています。  
総会欠席の方も会費支払い状況確認、及び先払い希望の受付を随時行いますので、  
代表アドレス([info@hcutc-obog.com](mailto:info@hcutc-obog.com)) もしくはHPお問い合わせフォームよりご連絡ください。

#### 4-3 予算案について

2018年度より、1年の予算案を出すことで年度単位での予算を実態としてとらえるため予算案を算出しております。  
（年毎の収入は新規会員の会費と継続会員の会費を加算したものであり、次の更新年までの予算も含んでいる）。  
別紙「広島市立大学トライアスロン部OB・OG会 2019年度予算案」参照。

### 5 現役生への支援について

2012年より、会員から会費とは別で任意に徴収する形で現役生への支援金贈呈を開始しました。 ※以下過去5年分の支援金額及び用途

贈呈タイミング	集まった支援金(円)	活用された内容	インカレ出場者数
第4回 2015年3月	¥71,000	インカレ予選交通費など	1名
第5回 2016年3月	¥29,000	インカレ予選の遠征費(主にパン代)	2名
第6回 2017年3月	¥36,000	インカレ予選の遠征費(交通費・旅費)	0名
第7回 2018年3月	¥47,000	インカレ予選・代替記録会の交通費・旅費	1名
第8回 2019年3月	¥39,000	インカレ予選の遠征費(交通費・旅費)	0名
過去合計	¥374,000		

※インカレ予選(中国・四国ブロック)

～2016…ホワイトトライアスロン in 湯梨浜大会(鳥取県)  
2017～2018…サンポート高トライアスロン～瀬戸内国際体育祭～(香川県)  
2019～…伊予市トライアスロン大会 in ふたみ(愛媛県)

### 5 第六期役員会・理事会について

2019年11月末をもちまして、第五期役員会・理事会が終了、2019年12月より第六期役員会・理事会へと交代いたします。  
新たな会長含め、新メンバーの構成については総会当日までに決定し、発表する予定となっております。

## 6 議題

### 6-1 案内はがき廃止について

現在、OB・OG会の会員(新規・更新のみ)に対して毎年総会の案内をはがきで行ってきたが、今回の25周年をもちまして5年周期の周年行事のみ案内をはがきでできるよう変更させていただきます。今後、毎年総会についてはML及び各種SNSを用いた周知となります。

### 6-2 スカイク会議の現状と改善

2017年度より導入しましたスカイク会議について、2-2の通り思ったような参加者増加につながっていないのが現状です。参加者向上に向けて以下について検討したいと思います。

└会員内でのスカイクの普及度 又、その他適正ツールの有無

### 6-3 連絡ツールの改善

昨年意見が上がりました、学年代表を通しての連絡において挙げたLINEグループの使用(直接繋がってしまうため、希望者のみとして段階的に導入を行っていく)